
資料編

1 教育委員会関係委員名簿

目次

委員会等	担当部署	ページ
安曇野市コミュニティスクール（ACS）地域教育協議会	学校教育課 学校教育係	81
安曇野市いじめ不登校問題対策連絡協議会	学校教育課 教育指導室	82
安曇野市心身障がい児就学相談委員会	学校教育課 教育指導室	83
安曇野市学校給食センター運営委員会	学校教育課 学校給食担当	83
安曇野市生涯学習推進市民会議	生涯学習課 社会教育担当	83
安曇野市社会教育委員	生涯学習課 社会教育担当	84
安曇野市青少年センター運営委員会	生涯学習課 社会教育担当	84
安曇野市公民館運営審議会	生涯学習課 社会教育担当	84
安曇野市スポーツ推進委員会	生涯学習課 スポーツ推進担当	85
安曇野市スポーツ推進審議会	生涯学習課 スポーツ推進担当	85
安曇野市美術資料等選定委員会	文化課 文化振興担当	85
安曇野市博物館協議会	文化課 文化振興担当	86
安曇野市文化財保護審議会	文化課 文化財保護係	86
安曇野市文化財調査委員会	文化課 文化財保護係	86
安曇野市誌編さん委員会	文化課 博物館係	87
安曇野市文書館運営審議会	文化課 博物館係	87
安曇野市図書館協議会	文化課 図書館係	87

※本名簿は令和3年4月1日を基準日としています。（ただし、安曇野市コミュニティスクール（ACS）地域教育協議会については委嘱日に合わせ、令和3年5月7日を基準日としています。）

安曇野市コミュニティスクール（ACS）地域教育協議会

根拠法令：安曇野市コミュニティスクール事業実施要綱（教育部 学校教育課 学校教育係）

任 期：令和3年5月7日から令和4年3月31日まで

活動内容：学校の運営と安全に関する事項について協議を行い、学校の自己評価と改善策についての評価、助言等を行う。

（1）地域教育協議会名：豊科（豊科南中学校区）

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
會田 義昭	学校関係者	佐藤百合子	地域コーディネーター
早川 正美	学校関係者	手塚 達也	PTA 代表者
北森 茂	区長代表者	藤原加奈恵	PTA 代表者
大原 一人	地域コーディネーター	鈴木 桂子	その他教育委員会が必要と認めた者
平林 栄司	地域コーディネーター		

（2）地域教育協議会名：豊科（豊科北中学校区）

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
麻田 記良	学校関係者	山田 洋一	地域コーディネーター
志村 昌之	学校関係者	佐藤 厚彦	地域コーディネーター
内川 雅信	学校関係者	丸山 征南	地域コーディネーター
鈴木 清文	区長代表者	唐澤 誠	PTA 代表者
百瀬 陽子	区長代表者	平林 浩幸	PTA 代表者
丸山 紀子	地域コーディネーター	北澤 康央	PTA 代表者
三浦 好子	地域コーディネーター	臼井 知	その他教育委員会が必要と認めた者
長崎 康成	地域コーディネーター		

（3）地域教育協議会名：穂高（穂高東中学校区）

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
山崎 光信	学校関係者	荒深たつ子	地域コーディネーター
松下 玲	学校関係者	中澤みどり	地域コーディネーター
松尾 修	学校関係者	小林 永治	PTA 代表者
守屋 道則	区長代表者	姜 智允	PTA 代表者
望月 穩照	区長代表者	所 太久馬	PTA 代表者
柳川 哲郎	地域コーディネーター	清水 祥二	その他教育委員会が必要と認めた者
望月 文規	地域コーディネーター		

（4）地域教育協議会名：穂高（穂高西中学校区）

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
小松 幹	学校関係者	有賀喜美子	地域コーディネーター
濱野 久	学校関係者	田村 素子	PTA 代表者
堀内 政文	区長代表者	林 真一郎	PTA 代表者
竹内 悦子	地域コーディネーター	中田 光男	その他教育委員会が必要と認めた者
赤沼美奈子	地域コーディネーター		

(5) 地域教育協議会名：三郷

氏名	選出区分	氏名	選出区分
西川 友人	学校関係者	藤松 伸二郎	地域コーディネーター
沓掛 隆	学校関係者	三澤 晴男	地域コーディネーター
山崎 正浩	区長代表者	神谷 貴彦	PTA 代表者
山岸 彰	地域コーディネーター	小松 未知	PTA 代表者
伊藤可主也	地域コーディネーター	二木 治樹	その他教育委員会が必要と認めた者
布山 清保	地域コーディネーター		

(6) 地域教育協議会名：堀金

氏名	選出区分	氏名	選出区分
内山 一好	学校関係者	内田 浩志	地域コーディネーター
堀金 猛	学校関係者	山口 敏夫	地域コーディネーター
安部 直志	区長代表者	棚橋 輝彦	PTA 代表者
平倉 重則	地域コーディネーター	三枝 節子	PTA 代表者
猿田みさ子	地域コーディネーター	内田 伸二	その他教育委員会が必要と認めた者

(7) 地域教育協議会名：明科

氏名	選出区分	氏名	選出区分
両澤 宏樹	学校関係者	丸山恭一郎	地域コーディネーター
高野 恵理	学校関係者	山崎 芳實	地域コーディネーター
小林 俊子	学校関係者	丸山 貴弘	PTA 代表者
石田喜傳治	区長代表者	宮島 まなみ	PTA 代表者
藤原 三男	区長代表者	黒野 宗治	PTA 代表者
加々美加美雄	地域コーディネーター	坂楨 邦章	その他教育委員会が必要と認めた者
幅 修一	地域コーディネーター		

安曇野市いじめ不登校問題対策連絡協議会

根拠法令：安曇野市いじめ不登校問題対策連絡協議会設置要綱（教育部 学校教育課 教育指導室）

任期：令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

活動内容：いじめ及び不登校（以下「いじめ等」）の克服に向けて、学校・地域・関係機関等が連携を図り、いじめ等の防止及び早期発見・早期対応の取り組みをより実効的なものとする。

氏名	選出区分	氏名	選出区分
◎橋渡 勝也	教育長	竹内 幸浩	教育関係者
青柳 和義	福祉関係者	小平 伴紀	教育関係者
大宮 剛	福祉関係者	塩野 治幸	教育関係者
赤羽 史夫	警察関係者	土肥 美香	教育関係者
向山 啓二郎	PTA 関係者	矢口 順一	行政関係者
山崎 光信	教育関係者	財津 達弥	行政関係者
松尾 修	教育関係者	中楨 紀人	学識経験者

◎会長

安曇野市心身障がい児就学相談委員会

根拠法令：安曇野市心身障害児就学相談委員会規則（教育部 学校教育課 教育指導室）

任 期：令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

活動内容：心身に障がいのある幼児、学齢児童及び学齢生徒の適正な就学の相談を行う。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎上條 高明	学識経験者	丸山 秀子	特別支援教育担当者
渡邊 恵	学識経験者	中村 智昭	特別支援教育担当者
田中 保子	学識経験者	田尻 直樹	特別支援教育担当者
小出 千広	学識経験者	橋詰 恩	特別支援教育担当者
藤森 茂	専門医	遠藤あゆみ	特別支援教育担当者
三澤 由佳	専門医	町田 和	保育所及び幼稚園の長
小池 明美	特別支援教育担当者	佐々木真貴	保育所及び幼稚園の長
○高野 恵理	特別支援教育担当者	松井由美子	その他教育委員会が必要と認める者
小林 俊子	特別支援教育担当者	松澤知佐江	その他教育委員会が必要と認める者

◎会長 ○副会長

安曇野市学校給食センター運営委員会

根拠法令：安曇野市学校給食センター条例、安曇野市学校給食センター運営委員会規則（教育部 学校教育課 学校給食担当）

任 期：令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

活動内容：学校給食センターの運営を適性かつ円滑に運営するため、学校給食の重要事項を審議する。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎内山 一好	小学校長代表	油井 稔	PTA 代表
○横内理恵子	教育委員代表	久保田捺子	PTA 代表
堀金 猛	中学校長代表	嶼田奈麻美	PTA 代表
△常田 淳一	PTA 代表	須澤 大知	学校医代表
△高橋 玲香	PTA 代表	横林 和彦	薬剤師代表

◎委員長 ○副委員長 △監事

安曇野市生涯学習推進市民会議

根拠法令：安曇野市生涯学習推進市民会議設置要綱（教育部 生涯学習課 社会教育担当）

任 期：令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

活動内容：安曇野市生涯学習推進計画の推進及び取組状況の点検、評価等を行う。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
○高橋みち子	社会教育関係者	千國 寛一	社会教育関係者
山崎 浩	社会教育関係者	山崎 敦子	学校教育関係者
鳥羽 将司	社会教育関係者	猿田みさ子	社会教育関係者
荻原 義重	学校教育関係者	丸山 明男	社会教育関係者
筒井 年恵	学校教育関係者	浅見 郁子	社会教育関係者
柿本 豊	社会教育関係者	◎幅 修一	学校教育関係者

◎会長 ○副会長

安曇野市社会教育委員

根拠法令：安曇野市社会教育委員設置条例（教育部 生涯学習課 社会教育担当）

任 期：令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

活動内容：社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、社会教育に関する諸計画立案や教育委員会の諮問に応じ意見を述べること、職務を行うために必要な研究調査などを行う。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
○高橋みち子	社会教育関係者	千國 寛一	社会教育関係者
山崎 浩	社会教育関係者	山崎 敦子	学校教育関係者
鳥羽 将司	社会教育関係者	猿田みさ子	社会教育関係者
荻原 義重	学校教育関係者	丸山 明男	社会教育関係者
筒井 年恵	学校教育関係者	浅見 郁子	社会教育関係者
柿本 豊	社会教育関係者	◎幅 修一	学校教育関係者

◎議長 ○副議長

安曇野市青少年センター運営委員会

根拠法令：安曇野市青少年センター設置要綱（教育部 生涯学習課 社会教育担当）

任 期：令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

活動内容：青少年健全育成のための広報、啓発や社会環境浄化等のための企画、運営を行うとともに、青少年健全育成協力店への参加促進を図る。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
佐原 悦司	青少年健全育成団体関係者	市川 節子	青少年健全育成団体関係者
◎竹内 悦子	青少年健全育成団体関係者	丸山みどり	青少年健全育成団体関係者
塩原 幹男	青少年健全育成団体関係者	○伊藤可主也	青少年健全育成団体関係者
丸山 繁子	青少年健全育成団体関係者	小林富士夫	青少年健全育成団体関係者
勝野 富貴子	青少年健全育成団体関係者	降旗 幸子	青少年健全育成団体関係者
百瀬 陽子	青少年健全育成団体関係者	三好さき子	青少年健全育成団体関係者

◎会長 ○副会長

安曇野市公民館運営審議会

根拠法令：安曇野市公民館条例（教育部 生涯学習課 社会教育担当）

任 期：令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

活動内容：館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎羽重 暁雄	社会教育の関係者	関 晏弘	社会教育の関係者
安藤登志子	社会教育の関係者	高橋 清美	社会教育の関係者
狭間 政信	社会教育の関係者	佐々木重昭	社会教育の関係者
西川 則子	社会教育の関係者	栗幅 宣吉	家庭教育の向上に資する活動を行う者
神谷 哲彦	学校教育の関係者	三好さき子	社会教育の関係者
望月 芳雄	社会教育の関係者	○田中 吉弘	社会教育の関係者
鈴木 敏雄	社会教育の関係者	◎会長 ○副会長	

安曇野市スポーツ推進委員会

根拠法令：安曇野市スポーツ推進委員に関する規則（教育部 生涯学習課 スポーツ推進担当）

任 期：令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

活動内容：スポーツ推進事業の実施、連絡調整及び市民に対しスポーツに関する指導・助言を行う。

氏 名	地 域	氏 名	地 域	氏 名	地 域
◎松田 久雄	三郷	水口 朋巳	穂高	下川 充弘	堀金
○赤羽 利夫	明科	細野 築三	穂高	浅野 昌也	堀金
△古畑やよい	堀金	二見 里香	穂高	加々美真弓	堀金
望月 健保	豊科	巢山 敦子	穂高	一志 裕之	堀金
丸山 義春	豊科	越原 範子	穂高	井澤 大成	堀金
望月 武晴	豊科	布山まゆみ	三郷	遠藤 正美	明科
逢澤 玲子	豊科	久根下直敏	三郷	丸山 繁	明科
増澤 健	豊科	岡里 正成	三郷	石田 和子	明科
石川 貴恵	豊科	斉藤ゆう子	三郷	丸山 俊樹	明科
眞嶋 善昭	穂高	丸山 美樹	三郷	小林 忍	明科

◎会長 ○副会長 △女性代表

安曇野市スポーツ推進審議会

根拠法令：安曇野市スポーツ推進審議会条例（教育部 生涯学習課 スポーツ推進担当）

任 期：令和2年9月1日から令和4年8月31日まで

活動内容：安曇野市教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関して教育委員会に建議する。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎赤羽 高明	スポーツに関する学識経験	小林可奈子	スポーツに関する学識経験
加々美浩一	スポーツに関する学識経験	古川 節雄	関係行政機関の職員
松田 久雄	スポーツに関する学識経験	西村健太郎	関係行政機関の職員
湯本 度	スポーツに関する学識経験	西川 友人	教育委員会が特に必要と認める者
布山まゆみ	スポーツに関する学識経験	藤森 康友	教育委員会が特に必要と認める者
臼井 良臣	スポーツに関する学識経験	千國 寛一	教育委員会が特に必要と認める者
○古澤 栄一	スポーツに関する学識経験	赤羽 敦子	教育委員会が特に必要と認める者
小林いず子	スポーツに関する学識経験	◎会長 ○副会長	

安曇野市美術資料等選定委員会

根拠法令：安曇野市博物館条例（教育部 文化課 文化振興担当）

任 期：令和2年4月1日から令和4年3月31日

活動内容：博物館資料を適正かつ円滑に収集するため、安曇野市豊科近代美術館、安曇野高橋節郎記念美術館及び田淵行男記念館において収集する美術作品及び美術に関する資料選定及び評価に関することを審議する。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
◎笹本 正治	学識経験者	岸野 圭作	学識経験者
伊藤 正大	学識経験者	○大竹 永明	学識経験者
征矢野久茂	学識経験者	◎会長 ○副会長	

安曇野市博物館協議会

根拠法令：安曇野市博物館条例（教育部 文化課 文化振興担当）

任 期：令和2年4月1日から令和4年3月31日

活動内容：博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
保科 潔	学校教育の関係者	金井 直	学識経験者
○百瀬 新治	社会教育の関係者	◎笹本 正治	学識経験者
細野 理恵	社会教育の関係者	高原 正文	学識経験者
宇田川理佳	家庭教育の向上に資する活動を行う者	伊藤 節雄	学識経験者
須之部 大	学識経験者	古川 政明	公募

◎会長 ○副会長

安曇野市文化財保護審議会

根拠法令：安曇野市文化財保護条例（教育部 文化課 文化財保護係）

任 期：令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

活動内容：安曇野市教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関し教育委員会に建議する。

氏 名	選出区分
○大澤 慶哲	文化財に関する学識を有する者（郷土史全般）
倉石あつ子	文化財に関する学識を有する者（民俗学）
梅干野成央	文化財に関する学識を有する者（建築学）
松田 貴子	文化財に関する学識を有する者（自然）
◎百瀬 新治	文化財に関する学識を有する者（考古学）

◎会長 ○職務代理者

安曇野市文化財調査委員会

根拠法令：安曇野市文化財保護条例（教育部 文化課 文化財保護係）

任 期：令和3年5月1日から令和5年4月30日まで

活動内容：文化財の適正な把握を行うため、文化財調査、文化財パトロールを実施する。

氏 名	選出区分
吉田 泰	文化財に関し優れた見識を有する者
古川 幸男	文化財に関し優れた見識を有する者
伊藤 信一	文化財に関し優れた見識を有する者
高松 伸幸	文化財に関し優れた見識を有する者
小穴金三郎	文化財に関し優れた見識を有する者
降旗 政人	文化財に関し優れた見識を有する者
久津間 茂	文化財に関し優れた見識を有する者
山口 裕	文化財に関し優れた見識を有する者
池上 勝三	文化財に関し優れた見識を有する者
寶 喜吉	文化財に関し優れた見識を有する者

安曇野市誌編さん委員会

根拠法令：安曇野市誌編さん委員会設置要綱（教育部 文化課 博物館係）

任 期：令和2年7月30日から任務の終了まで

活動内容：市誌編さんの基本方針、編集方針、事業推進に関して助言等を行う。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
笹本 正治	学識を有する者	上角久仁夫	学識を有する者
○倉石あつ子	学識を有する者	宮崎 崇徳	学識を有する者
◎小松 芳郎	学識を有する者	高原 正文	学識を有する者
梅干野成央	学識を有する者	堀金 猛	学識を有する者

◎会長 ○副会長

安曇野市文書館運営審議会

法令根拠：安曇野市文書館条例（教育部 文化課 博物館係）

任 期：令和3年4月1日から令和5年3月31日まで

活動内容：文書館において収集する公文書等の選定及び廃棄に関することや、文書館の運営管理に関することについて審議する。

氏 名	選出区分
小宮山 敏和	公文書等に関する学識を有する者
◎小松 芳郎	公文書等に関する学識を有する者
瀬畑 源	公文書等に関する学識を有する者
高原 正文	公文書等に関する学識を有する者
○曾根原孝和	公文書等に関する学識を有する者

◎会長 ○会長職務代理

安曇野市図書館協議会

法令根拠：図書館法、安曇野市図書館条例（教育部 文化課 図書館係）

任 期：令和2年7月1日から令和4年6月30日

活動内容：図書館運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
松下 玲	学校教育の関係者	小田登茂子	学識経験者
鬼塚 千春	学校教育の関係者	鈴木 研一	学識経験者
◎初谷 大子	社会教育の関係者	○小笠原教明	学識経験者
田守 明子	社会教育の関係者	福田 美弥	学識経験者
古川 政明	家庭教育の向上に資する活動を行う者	鈴木 健司	学識経験者
樋口 嘉一	学識経験者	黒澤 哲	学識経験者

◎会長 ○副会長



からだを動かし、頭で考え、心に感ずる*
“たくましい安曇野の子ども”

未来を担う
安曇野市の宝

*文芸評論家・作家 臼井吉見（1905-1987 安曇野市）の講演「中学生諸君に望む」（1967）から

＜教育理念＞ 子どもが健やかに育ち、生涯を通じて学び合い、文化を創り育むまちを築きます。 安曇野市教育大綱（H30.12.18 総合教育会議で決定）

— 願う 児童生徒、教師、学校の姿 —

自ら動く児童生徒

- 自ら判断し行動する児童生徒
- 自信をもって自己を表出する児童生徒

学び続ける教師

- 豊かな発想でのびのびと自らを高める教師
- 明るく元気に、笑顔で子どもの前に立つ教師

地域へ飛び出す—地域との連携を強める学校

- 地域の“ひと・もの・こと”と積極的なかわりを持ち、特色ある豊かな学習を展開する学校

家庭・地域

幼稚園・認定こども園など

県教育委員会・中信教育事務所

市内全校で取り組む内容

- 電子黒板や一人1台端末を活用した授業づくり ICT機器を活用した主体的に学ぶ学習の展開
- 健康増進、体を動かす機会の創出 「手作りお弁当の日」の実施、自力登下校の促進
- 郷土への愛着や誇りの醸成 地域学習の充実、安曇野市歌・あづみの健康体操の普及
- 共生社会への基盤づくり 副学籍の活用と交流及び共同学習の推進
- 連携と交流 幼保小中高の連携強化、民間施設との関係強化、ボランティア会の立ち上げ
- 健全育成 「情報機器の運用規定やルールづくり」と心身の健康被害防止啓発
- 命・人権の尊重 新型コロナウイルス感染症対策と人権教育の推進、交通事故OPD以外の強化

市研究指定校

- 「明科中学校区における小中一貫教育」（2年次）…明北小・明南小・明科中
- 「ICT機器を積極的に活用した授業づくり」（新規）…豊科北小・穂高北小・穂高東中
- 「国型コミュニティ・スクール移行に向けた体制づくり」（新規）…堀金小・堀金中

“たくましい安曇野の子ども”を目指す安曇野市立小中学校の将来構想（案）

重点① コミュニティスクールの活性化 ② 小中一貫教育の導入 ③ 「あづみの安曇野の時間(仮称)」の創設

※令和3年度内に策定予定

校長会・教頭会・教育会・退職校長会・県立特別支援学校・市内県立四高校長会・市PTA連合会 教育関係七団体

3 令和3年度安曇野市コミュニティスクール（ACS）グランドデザイン

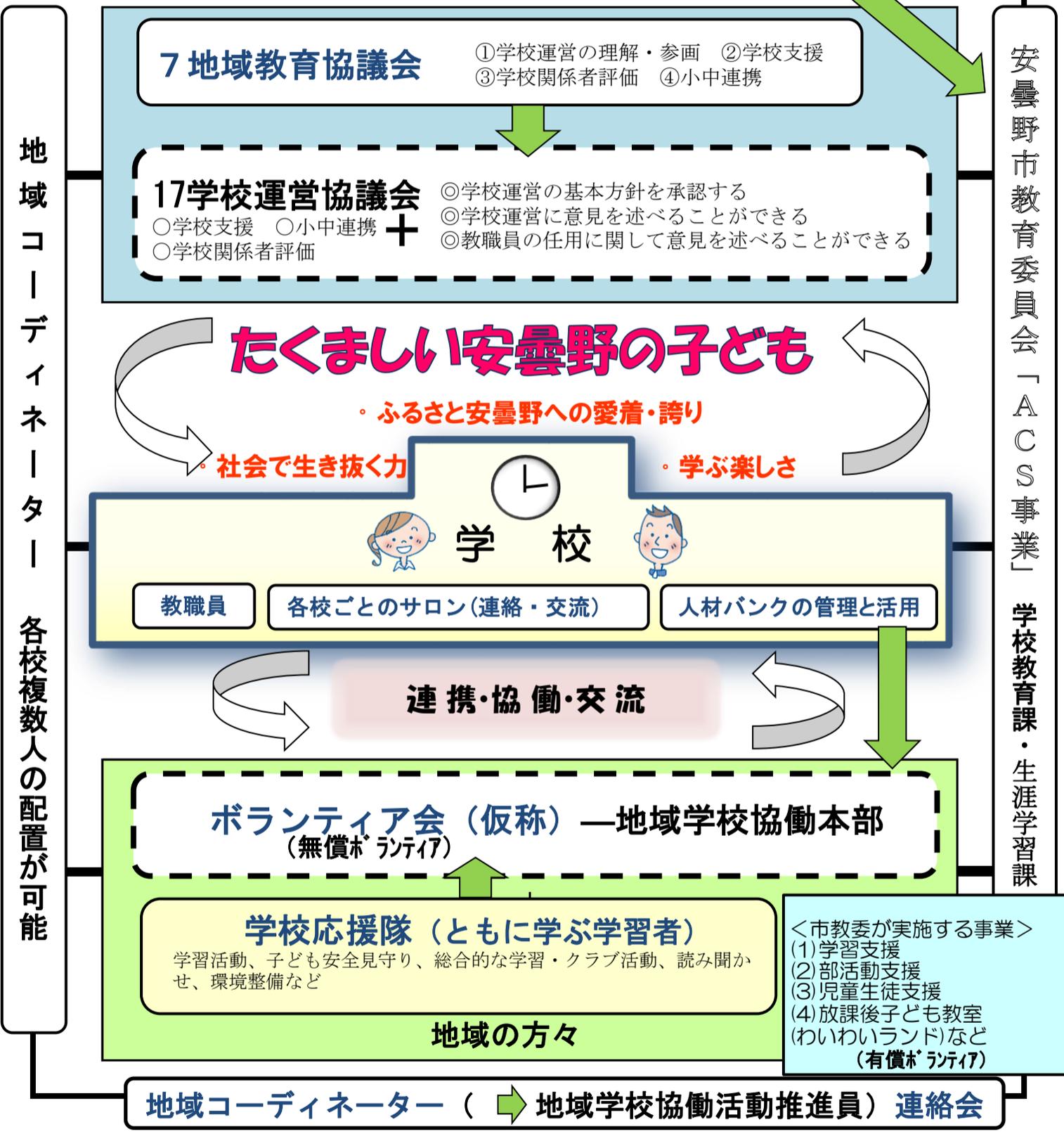


令和3年度
安曇野市コミュニティスクール(ACS)
グランドデザイン

安曇野市教育委員会

R3年度末までに移行
する新体制の構想

実行委員会
・学校支援体制全般
・研修会の開催
・事業評価



<市教委が実施する事業>
(1) 学習支援
(2) 部活動支援
(3) 児童生徒支援
(4) 放課後子ども教室(わいわいランド)など
(有償ボランティア)

・関連調整組織 (中学校部活動運営委員会, キャリア教育支援委員会)

[歩み]H21～安曇野市学校支援地域本部事業としてスタートし、H26～安曇野市スクールサポート事業、H29～ACS事業と名称を変え充実を図ってきた。今後、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6」(H29.4施行)による学校運営協議会制度を導入したコミュニティ・スクールへの移行を準備が整ったところから行い、R3年度末までにすべての学校での実施を目指す。

4 安曇野市公民館の理念

平成 27 年 10 月 26 日 制定

安曇野市公民館の理念

安曇野市公民館は、社会教育法第 20 条で定める「市民の生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与する」目的を達成するため『安曇野市公民館の理念』を制定し、地域の社会教育機関としての役割を明確にします。

この理念の下、安曇野市公民館は常に地域住民の交流と学習の場としてあり続け、館長並びに職員は時代に即した運営を展開します。

1 地域づくりを地区公民館とともに進めます。

市民に最も身近な公民館は、自治公民館である地区公民館です。地域づくりは、そこに住む人々が集い交流することから始まります。

安曇野市公民館は、地区公民館と協力して地域づくりを進めます。

2 地域のつなぎ役として、各種団体と連携し交流を進めます。

地域には、様々な団体やグループがあります。それらが交流することで、新たな仲間や活動が生まれます。

安曇野市公民館は、各種団体などの育成とコーディネーターを務め、地域内の交流を進めます。

3 事業の継続性を大事にしながら、時代に即したものに発展させます。

公民館には、長い間親しまれ、地域の特性を生かした事業が数多くあります。積み重ねた事業は、市民の貴重な財産や思い出となり、地域の絆を深めます。

安曇野市公民館は、地域と人づくりに貢献する継続事業を大切にしつつ、時代に沿ったものへと展開します。

4 市民に最も身近な生涯学習活動の場を提供します。

市民が自らの意思に基づいて行う学習活動は、生きがいとなり、住みよい地域社会の創造に繋がります。

安曇野市公民館は、市民が生涯学習をいつでも気軽にできる場と情報の提供に努めます。

社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）

（目的）

第 20 条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。